



たかまる通信

第3号
2004.3.1

発行
福岡たかまる
後援会

討議資料

一歩一歩進んでいきます

総選挙後、初めての「たかまる通信」の発行となります。

実は、第二号・第二号は「文章のプロ」にボランティアで書いて頂いたものでした（もちろん、内容については十分に議論をしました）。しかし、今回、拙くても自分で表現したいとの思いで、筆を執ることにしました。稚拙だからと表に出なければ、成長はあり得ない。今後も自ら未熟さを披露し、そして恥をかき、批判にさらされることで、自分を磨いていきたいと考えています。是非、私を育てるような気持ちでお読み頂き、そして叱咤激励して頂ければと思います。

TAKAMARO

TODAY'S REPORT

FUKUOKA

事務所での福岡たかまる

ただ、ただ 感謝あるのみです。

皆さま方には総選挙の際、大変お世話になりまして本当にありがとうございました。

皆様方には
総選挙の際、
大変お世話に
なりまして本
当にありがと
うございました。
とにかく、感
謝の言葉しか
ありません。
私にとって、初
めての選挙。

昨年七月末
に勤めていた会社を辞め、八月一日から十月
九日までの正味三ヶ月間、無我夢中で訳も
分からぬまま時間が過ぎてしまいました。そ
れでも、いきなりの国政選挙という初陣で、
六万六千四百四十六票、有効投票の四十四
二九%を頂戴したのは、ひとえに皆さま方
のおかげであり、その御期待に添えなかつたこ
とを大変申し訳なく思います。

私は、先の選挙を通じて、これだけ多くの
方々に支えられているという「縁(えにし)」
を感じました。それぞれの方が、別に色々な
おつきあいやしがらみをお持ちにもかかわ
らず、私を支援してくださった。その中で、辛
い思いをされた方も多々いらつしやる。そのこ
とを思うと、胸を締め付けられると同時に、
私が報いることが出来るのは所期の目標を
達成するために邁進することしかないと思
います。

	得票数	惜敗率
福岡	66,446	94.55%
原口	70,271	

素材は地元で散らばっている

今回の敗因は、すべて私の中にあります。
特に、地元に対する理解不足、政治知識の
不足、二つがあげられるでしょう。

佐賀の知識については、高校卒業から昨年
まで地元を離れていたこともあって、毎日が
新しい発見の連続です。いかに私が佐賀を
知らなかつたか、私知っている「社会」が偏
っていたかを痛感しています。皆様方の「三声」
声、そして現場を見せて頂くことの二つが
私の肥やしとなります。国政を考える上で
も、すべてのヒントは身近な生活の中に隠さ
れている。その確信のもと常に「現場」を知
ることに努めていきたいと思つています。地域行
事はもとより、お仕事の場、お仲間の集まり
などは是非お誘い頂ければ本当に嬉しいです。
また、その現場で得た知識を体系的に政
策化できるだけの基礎知識の習得にも努め
ていきます。哲学者ソクラテスは「無知の知
見を求められるた
びに自分の無知を
痛感します。勉強
会やフォーラムな
どのほか、専門家
の指導、書籍雑誌
新聞などでたえず
知識を得ていきたく
と思つています。



イラク自衛隊派遣について

イラクへの自衛隊派遣が大きな争点となっています。私は、民間から防衛を支える「防衛協会」の会員ですが、派遣された隊員の方々が任務を完遂され、全員無事に帰国されることを心から願ってやみません。少しでもその気持ちを表そうと黄色いハンカチ運動にも参加しています。

さて、イラク派遣については、賛否両論があることはご承知のとおりですが、私は「賛成」の立場をとっています。一つは、「国際社会の責任ある一員として、イラクの復興に積極的に関与することが、日本の立場を向上させる」という政府見解に同意するため。そしてもう一つが、日米同盟を基軸とした現在の日本の外交政策の中で、「行かない」ことのリスクは大きく、現実的な選択ではないと考えるからです。

為政者は、常に国民の安全と財産を守ることを考えなければいけません。日米安保を前提とした安全保障政策をとる日本としては、日本を取り巻く脅威に対抗するために、当面は米国との確固たる友好関係を維持していく必要があります。日本の民主党議員の中には、今回派遣をしなくても、日米間の信頼は変わらない主旨のことを言う

人がいますが、何を根拠に、そして何を担保に言っているのか。ブッシュの暴走、国中心主義と報じるメディアもありますが、アメリカは民主主義国家ですから、その大統領の決定を支えているアメリカの民意を無視してアメリカ政府を批判するのは日本の利益に反すると考えます。また、日本の民主党が主張する国連中心主義は理想的な考えですが、安保理での拒否権発動など国連が十分に機能しない状況が続いてきた歴史を考えると、現時点では現実的な選択とは言えないでしょう。



04.1.27 読売新聞

04.1.21 朝日新聞

年初に映画「ラストサムライ」を見ましたが、いろんなことを考えさせられました。明治維新以降、急速な近代化を進める中で日本が失ったものの一端を垣間見ることができたと思います。

私が続ける剣道もスポーツ化してきていて、ともすればその精神面の伝承がない。今、教育基本法の改正が議論され

神面での豊かさを見失ってしまったのではないか。つまり、時代の流れとともに希薄化されている日本固有の価値観や伝統、文化を再度見直す時期に来ていると思うのです。

それには、何と言っても「教育」しかない。今、教育基本法の改正が議論され

ラストサムライを想う 福岡資麿

おろそかになっている昨今、外国人の剣道家に、日本の心について教えられることがあります。この映画でも、アメリカ人の監督に日本の心について教えられたような気がしました。

さて、日本が失ったものは何か。それは、物質的豊かさを追求める一方で、精

ていますが、その中で、「愛国心」が一つの争点とされています。「愛国心」というと、すぐに軍国主義への再誘導のような過剰の反応をされる方がいますが、それは短絡的な気がします。「愛」とは絶対服従を意味するものではありません。夫婦の愛や、家族愛を考えて見てくだ



さい。時にはすぐ嫌いになったり、また浮気しそつになったり、家出をしなくなったり。でも結局は運命共同体なんです。つまり、自分を構成する根底にある

というものは自分自身の中にあるものではないでしょうか。

教育は国家百年の計。すぐに、芽が出るわけではありませんので、ついつい優先度が低くなりがちですが、厳しい時期だからこそ、教育を重視していくべきだと思います。「親の数だけ文部大臣がいる」。皆様からの教育への提言をお待ちしています。

もの。日本の歴史や文化であったり、日本の中での人間関係であったりを受け入れようということだと思えます。国家

映画「ラストサムライ」で渡辺謙扮する「勝元」。自分の信念のためには、死をも厭わない「サムライ魂」を見たときに、わたしも自分の信念を貫き通す気骨のある政治家を目指したいと強く思いました。夢は、「我、平成のサムライとならん」。

佐賀市の事務所を引越しました

一月十二日に事務所の移転をしました。

場所は駅にほど近いところで、二階建て。ずいぶん狭くなりましたが、暖かい雰囲気の仕事所を目指して参りますので、お近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。

和室もあり、懇談会場としてもお使い頂けます。

事務所スペースには香港のグラフィックデザイナー、アラン・チャンのセレクトによる模型を吊すなど、くつろげる空間を演出すべく努力中です。いろんなご意見をお待ちしています。書道による外の看板も洗いやすいよ。

ちなみに、スペースの都合上、福岡たかまろの執務スペースは洗濯機置き場。机の上にある蛇口が逆にお洒落だとは思いませんか？

お願い

是非、サポーターになってください

皆様方のお支えがないと日々の活動ができません。無料の後援会とは別に、たかまろサポーターズ・クラブを開設いたします。年間2,000円以上(千円単位)で受け付けております。

サポーターの方には「たかまろ通信」を郵送いたします。たかまろという双葉を成長させるための水分・養分として、ご検討頂ければ幸いです。よろしくお願ひいたします

振込口座

佐賀銀行 県庁支店
普通 1480907
「たかまろう21」福岡 資磨

※この口座は公職選挙法により個人献金しか受けることができません。

※企業での献金につきましては、別途届出団体にて受けておりますので、下記にご一報いただければと存じます。

●福岡たかまろ事務所

0952-30-0555

執務スペース



張り切るスタッフ

福岡たかまろ事務所



〒840-0804 佐賀市神野東3丁目2番13号
TEL 0952-30-0555 (さんびやく、ゴーゴー)
FAX 0952-30-0700 (さんびやく、ななひやく)
e-mail takamaro@takamaro.jp
※いろんなご意見、ご案内を是非お寄せください。

鳥栖事務所オープン

鳥栖・三養基地区の事務所を開設しました。鳥栖市役所の近くになります。これまでも、鳥栖・三養基に行く頻度を上げていきますので、何かの際には是非お声かけください。

T 841-0052 鳥栖市宿町1436
TEL 0942-821-3801
FAX 0942-821-3345

後援会事務所スタッフ紹介

福岡事務所は三名ががっちり組織拡大のため頑張っています。深川英之所長、鬼崎善利秘書の両氏が、豊富な経験を生かし事務所を取り仕切り、そして世事万端に通じた吉浦さんがにこやかに皆様をお迎えしています。

おわりに

これから、日本が舵取りをどう行っていくべきか。すごく難しいテーマです。

産業構造が多様化している。そして日本人の価値観も多様化している。だから何が国や国民全体の利益になるのかを見極めることは容易ではありません。特定の人たちの利益が、一方で別の人の利益になつてはいけません。

現在の不況の中、安定した成長を続けている企業に共通するのは顧客第一主義。常にユーザーと対峙し、そして何を求めているのかをしっかりと把握しています。政治の世界もまさに、そのことが言えるのではないのでしょうか。国民主権—あくまで主役は皆様方一人一人です。

私は、特定の層に偏ることなく常に皆様一人一人と向き合つて、ニーズをつかんでいくことに努めて参ります。私の行動指針の二つは「聴きます」。皆様方とのふれあいや対話が私の財産です。今後ともよろしくおねがいます。

あなたもエディター (編集者) の一員です

今後、年に五〜六回のペースでたかまろ通信を発行していきます。自己満足で終わらないためにも、いろんな企画を募集していきます。ご意見をお待ちしています。